

社会資本総合整備計画（地域住宅支援） 事後評価書

平成28年4月26日

計画の名称	1 鈴鹿市における住宅セーフティネットの構築と住環境の向上（地域住宅計画）																																
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）					交付対象	鈴鹿市																										
計画の目標	『だれもが快適に住み続けられる住まい・まちづくりと災害に強く、安心して暮らせる住まい・まちづくりを実現し、民間賃貸住宅等を活用したすまいのセーフティネットづくりを進めて、一層の定住促進を図る。』																																
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・鈴鹿市における公営住宅の住環境向上を行った戸数の割合を24%から73%に増加（地域住宅計画） ・鈴鹿市における老朽化の著しい市営団地を良好な住宅市街地とする整備率を11%から45%に増加（地域住宅計画） ・鈴鹿市における空家等対策計画の策定等に必要空き家実態把握調査の実施戸数を0戸から4,280戸に増加（地域住宅計画） 																																
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H23当初)</th> <th>中間目標値 (H24末)</th> <th>最終目標値 (H27末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内の公営住宅のうち、長寿命化型改善された戸数割合 (公営住宅の改善割合) = (公営住宅の改善戸数) / (公営住宅の改善必要戸数) (%)</td> <td>24%</td> <td>52%</td> <td>73%</td> <td>※中間目標は任意 (地域住宅計画)</td> </tr> <tr> <td>老朽化団地における市営住宅の整備状況等をもとに算出する。 (老朽化団地の整備率) = (整備された棟数) / (老朽化団地の全棟数) (%)</td> <td>11%</td> <td>31%</td> <td>45%</td> <td>(地域住宅計画)</td> </tr> <tr> <td>市内の空き家のうち、その他空き家に分類される空き家の実態把握調査を実施した戸数(戸)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>4,280戸</td> <td>(地域住宅計画)</td> </tr> </tbody> </table>											定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H27末)	市内の公営住宅のうち、長寿命化型改善された戸数割合 (公営住宅の改善割合) = (公営住宅の改善戸数) / (公営住宅の改善必要戸数) (%)	24%	52%	73%	※中間目標は任意 (地域住宅計画)	老朽化団地における市営住宅の整備状況等をもとに算出する。 (老朽化団地の整備率) = (整備された棟数) / (老朽化団地の全棟数) (%)	11%	31%	45%	(地域住宅計画)	市内の空き家のうち、その他空き家に分類される空き家の実態把握調査を実施した戸数(戸)	-	-	4,280戸	(地域住宅計画)
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																													
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H27末)																														
市内の公営住宅のうち、長寿命化型改善された戸数割合 (公営住宅の改善割合) = (公営住宅の改善戸数) / (公営住宅の改善必要戸数) (%)	24%	52%	73%	※中間目標は任意 (地域住宅計画)																													
老朽化団地における市営住宅の整備状況等をもとに算出する。 (老朽化団地の整備率) = (整備された棟数) / (老朽化団地の全棟数) (%)	11%	31%	45%	(地域住宅計画)																													
市内の空き家のうち、その他空き家に分類される空き家の実態把握調査を実施した戸数(戸)	-	-	4,280戸	(地域住宅計画)																													
全体事業費	合計 (A+B+C)	256.5 百万円	A	256.5 百万円 (35.0 百万円)	B	Ac+C	35.0 百万円	効果促進事業費の割合 (Ac+C) / (A+B+C)		13.6%																							
事後評価																																	
○事後評価の実施体制、実施時期																																	
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期																											
鈴鹿市にて実施						計画期間終了後（平成28年4月）																											
						公表の方法																											
						鈴鹿市のホームページにて公表																											
1. 交付対象事業の進捗状況																																	
交付対象事業																																	
A1 住宅事業																																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考																			
								H23	H24	H25	H26	H27																					
1-A1-1	住宅	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	公営住宅ストック総合改善事業	長寿命化型改善（屋根防水730戸）						82.000																				
1-A1-2							福祉対応型改善（バリアフリー化改善16戸）						7.424																				
1-A1-3							長寿命化型改善（外壁改修72戸）						33.600																				
1-A1-4	住宅	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	住宅地区改良事業等（空き家再生等推進事業）	空き家実態把握調査（空き家0戸）						4.044																				
小計（住宅事業）											127.07																						
Ac 提案事業																																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考																			
								H23	H24	H25	H26	H27																					
1-Ac-1	住宅	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	市営住宅総合再生事業	老朽化した市営住宅団地の解体・整地（15棟）						15.6																				
1-Ac-2							老朽化した市営住宅団地の移転費助成（25戸）						6.1																				
小計（住宅事業）											21.7																						
合計											148.81																						

B 関連社会資本整備事業														
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
								H23	H24	H25	H26	H27		
合計												0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考		
C 効果促進事業														
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
								H23	H24	H25	H26	H27		
合計												0.00		
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考		

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・公営住宅の福祉対応型改善工事及び屋上屋根防水改修、外壁改修を行うことにより、市営住宅の安全性・居住性の向上と、既存ストックの長寿命化を図った。
- ・老朽化の著しい市営住宅を解体・整地し、跡地を公園等に整備することにより、周辺地域がより良好な住宅市街地として再生され、住環境が向上した。

II 定量的指標の達成状況	指標①（公営住宅の改善割合）	最終目標値	73%	目標値と実績値に差が出た要因	外壁改修工事について、工事中は各住戸の窓の開閉が制限されるため、入居者の住環境を考慮し、工事時期を秋季以降と限定したため、一部実施できなかった。
		最終実績値	70%		
	指標②（老朽化団地の整備率）	最終目標値	45%	目標値と実績値に差が出た要因	入居者の理解を得ることに時間を要したため、計画棟数より整備棟数が下回った。
		最終実績値	37%		
	指標③（空き家の実態把握調査実施戸数）	最終目標値	4,280戸	目標値と実績値に差が出た要因	当事業は、一巡目調査、二巡目調査を経て事業完了となる。平成27年度に一巡目調査が終了し、二巡目調査は、平成28年度に実施を予定しているため、実績は0戸となった。
		最終実績値	0戸		

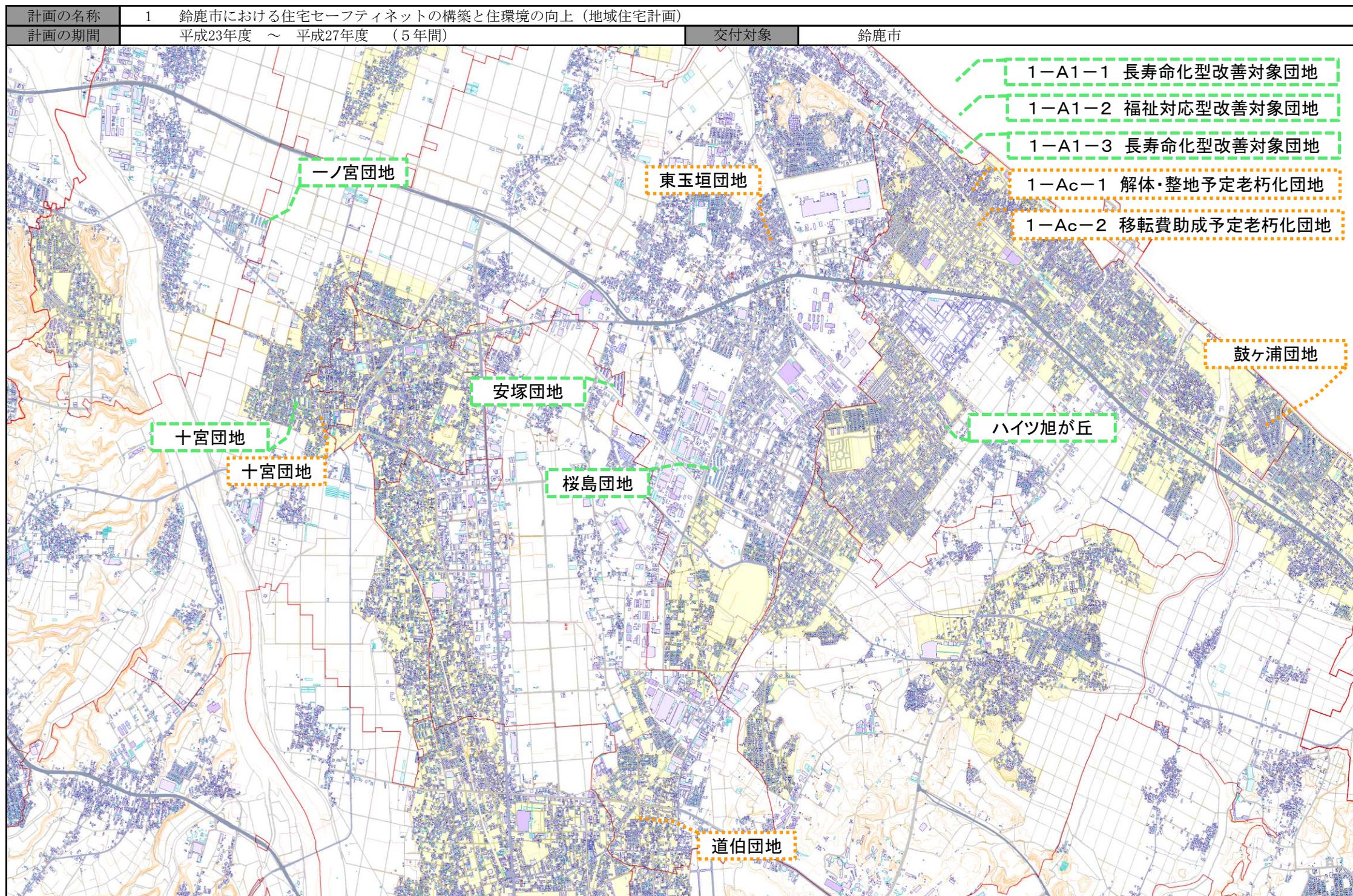
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況
(必要に応じて記述)

公営住宅の福祉対応型改善工事を行うことにより、住宅セーフティネット法における住宅確保要配慮者の居住の安定の確保にも寄与している。

3. 特記事項（今後の方針等）

今後も、計画的な改修により市営住宅の長寿命化を図り、良質な住宅ストックの確保、住民の安全性・居住性の向上に努め、だれもが安心して快適に住み続けられる住まい・まちづくりを実現するため計画的に事業を推進していく。

(参考様式3) 社会資本総合整備計画



(参考様式3) 社会資本総合整備計画

計画の名称	1 鈴鹿市における住宅セーフティネットの構築と住環境の向上（地域住宅計画）		
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度（5年間）	交付対象	鈴鹿市

1-A1-4 空き家実態把握調査対象地



The map displays the geographical layout of Suzuka City, divided into several districts. A blue dashed box labeled '鈴鹿市全域' (Entire Suzuka City) encompasses the entire area. A specific area in the western part of the city, near the '庄内' (Saiuchi) and '鈴峰' (Suzukane) districts, is highlighted with a blue dashed border, corresponding to the '1-A1-4 空き家実態把握調査対象地' (Target area for vacant home status investigation). Other districts shown include 榑 (Suzuka), 深伊沢 (Fukayazawa), 久間田 (Kumada), 石薬師 (Ishiyakushi), 河曲 (Kawakatsuri), 一ノ宮 (Ichinomiya), 加佐登 (Kasato), 井田州 (Iidazhou), 庄野 (Saiyano), 牧田 (Makiyama), 神戸 (Kannoh), 箕田 (Miyata), 飯野 (Ihano), 若松 (Wakamatsu), 国府 (Kunifu), 稲生 (Inase), 玉垣 (Tamaki), 白子 (Shirako), 天名 (Tenami), 合川 (Gogawa), and 栗 (Kuri). Major roads like National Route 1 and Route 306 are also indicated.